

朝日 社説で軍艦島住民の証言を疑う

一面新聞



具然喆「軍艦島で強制連行された中国人1000人が日本人に虐殺された！」
中村陽一「強制労働はなかったのになぜ韓国から端島(軍艦島)が地獄島と言われないといけない? 具氏は『軍艦島で酷いことをされた。小学校に居た』と主張してるが、我々の同級生は誰も具氏を知らない。真実を言っていない」



2020年7月9日 朝日新聞社説要旨
(社説) 世界遺産対立 負の歴史見つめてこそ

国としての対外的な約束は誠実に守る。
日本が求めてきた、この原則を自ら曲げるようでは信頼は築けまい。

世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」に関する展示は、戦時中の徴用工の説明について日本側は十分な対応をしていない。
“産業遺産情報センター”では徴用に至る制度的な経緯などはパネルで示してるが、軍艦島(端島)の元住民らが『朝鮮半島出身者への差別などなかった』と語るインタビューを流してる。
当時を知る人々の証言は貴重な価値をもつが、個々の体験の証言を取り上げるだけでは歴史の全体像は把握できない。
朝鮮半島出身者の労働動員に暴力を伴うケースがあったことや、過酷な労働を強いたことは当時の政府の公文書などで判明しており、日本の裁判でも被害事実は認められている。
現状では、「犠牲者を記憶にとどめるための適切な措置」をとる方針の約束した趣旨を実現していない。

負の側面には目を向けないというのなら、遺産の輝きは衰えてしまう。

朝日新聞は元住民の『韓国で旗振り役をやってる具然喆のことを誰も知らない』や『朝鮮人が虐待や牢屋に入れられた事実も強制徴用はない』といった証言を『個々の証言を取上げるだけでは歴史の全体像は把握できない』と真っ向から否定。韓国側の主張だけに目を向けず、軍艦島の元住民の証言にこそ目を向けるべき

令和2年
7月10日(金)

発行者
D A P P I

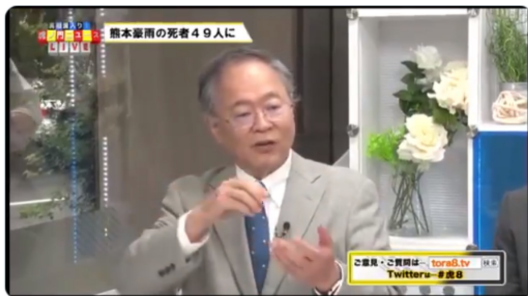


第138号



報道回想録

虎ノ門ニュース (2020年7月2日) 川辺川ダム建設中止は間違だった



7月7日に放送された虎ノ門ニュースで経済学者の高橋洋一氏が熊本豪雨災害について川辺川ダム建設中止が根源にあると語った。
高橋氏はダム建設中止する際の基準は「治水・利水のメリットはダム工事費より大きい。途中までやってやめるのは無駄になるから、ダム建設中断する際は建設メリットより中断メリットが高い時のみ中断」であると説明した上で、「ハッ場ダムや川辺川ダムはあと少しで完成だったのでダム工事を中断してはいけないものだったので、当時の民主党政権の人に忠告した。ハッ場ダムは当時の知事たちのおかげで結果はひっくり返ったが熊本県知事はダム反対だったので中止となってしまった。ダム中止が被害が大変になったと思う。」と脱ダムをかけた民主党政権と熊本県知事の決断に問題があったと語った。
そして熊本知事が改めて『ダムを作らないのは民意。他対策でやる』と発言したことについては、『熊本知事はずっとダム反対で他の対策は予算がなくて出来ない主張してるがそれはダメ。10年以上経過してるのだからダム以外の治水を早くやるべき』と苦言を呈した

注目のインターネット情報

国会で専守防衛の枠を超えない敵基地攻撃議論をすべき



小野寺五典「北朝鮮だけでもミサイル数百発保有。また技術向上で迎撃も難化し、迎撃破片が市街地に落下すれば大被害。一番確実なのは発射前の破壊。ミサイル防衛の一環と考えれば専守防衛の枠を超えない。日本を守りぬくために相手基地を叩く能力をもつべきと国会で議論すべき」

よくぞ言った
#kokkai



2020年7月8日 (衆議院 安全保障委員会)